

令和2年1月21日の講演会における『北九州空港アクセス機能の充実についての提案』に対する本市の見解について

■令和2年1月21日に、本特別委員会により、公益財団法人アジア成長研究所・八田理事長を講師とした、「北九州空港のさらなる発展等」についての講演会が開催され、その中の一部で、下記の提案があった

【八田理事長の提案（北九州空港アクセス機能の充実について）】

- ① JR小倉駅新幹線口2階にペデと接続するバスターミナルを設置し、都市高速道路「小倉駅北出入口」と高架道路で直結し、エアポートバスのアクセス時間短縮を図る
- ② 都市高速道路「長野出入口」から国道10号の中央分離帯の上に、高架道路を整備し、空港へのアクセス時間短縮を図る

■提案に対する本市の見解について

1) 提案内容の効果

- ① バスターミナル、都市高速道路へ直結する高架道路（1km）
《時間効果》：空港アクセスが、3分～4分程度短縮

信号停止の減	1～2回	3分～4分
--------	------	-------
- ② 長野出入口からのアクセス高架道路（7km）
《時間効果》：空港アクセスが、3分～4分程度短縮

長野出入口～苅田北九州空港 IC	13km	10分～11分
長野出入口からの高架道路	7km	7分

2) 本市の見解

「バスターミナル」や「高架道路」の整備については、時間短縮効果に対して、多大な事業費がかかることから、現時点では、事業化は困難であると考えている。

今後、空港アクセス鉄道の整備の方向性などを踏まえて、総合的に研究していく必要がある。

